

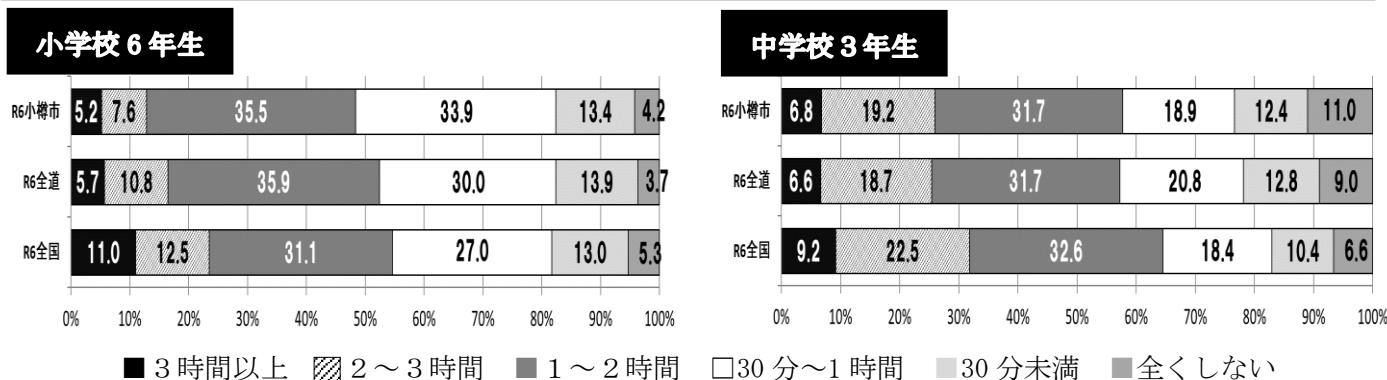
家庭学習習慣の定着を！

令和6年10月発行
小樽市教育委員会

小樽市の子どもたちの学習習慣は…

令和6年度全国学力・学習状況調査における児童生徒質問調査では、次のような調査結果が出ています。

学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）



小樽市の子どもたちは、全国・全道と比べ家庭での学習時間が短くなっています。

全国的に見ると…

家庭学習が習慣化している子どもの方が**平均正答率が高い**傾向にあります！

家庭学習での学習時間を増やすには？



ポイント① 家庭学習は音読から取り組みましょう

音読は、だれでも、どこでも、簡単にできる最も効果の上がる勉強の仕方の一つです。教科書の教材を、正確にすらすらと読むことができるようになるまで、毎日、音読に取り組みましょう。

小学生は国語、中学生は国語と英語に取り組みましょう。



ポイント② 宿題を復習の勉強時間へと広げましょう

毎日、学校から出される宿題に取り組みましょう。その日の授業で学習した内容を思い出したり、教科書やノートなどを見返したりすることで、宿題を復習の勉強時間に広げていくことができます。

宿題をしている時に、「この前習ったのに、もう忘れている」と思ったら教科書やノートを見返して、復習しましょう。



ポイント③ 今、長時間費やしていることを勉強にあててみましょう

「ゲーム」や「動画視聴」「スマホ使用」の時間が長ければ、時間のルールを決めたり、家族の協力を得ながら、一定期間ゲームや動画視聴をやめて、その時間を勉強にあててみましょう。この機会に習慣を思いきって変えてみることも必要です。

時間や目標を決めて、効率よく学習しましょう。

